

# 新作小説『ファング』発表

# 海辺新聞

2024年5月19日  
日曜日

シーサイドブックス  
**SeasideBooks**  
制作・山川夜高

Website [libsy.net](http://libsy.net) Twitter [@mtn\\_river](https://twitter.com/mtn_river)

Fediverse (Misskey) [@mtn\\_river@misskey.design](mailto:@mtn_river@misskey.design)

Online Store  
[libsy.booth.pm](http://libsy.booth.pm)

## バンドマンの友情と才能 「クロスロード伝説」の伝奇小説



▲『ファング』表紙・裏表紙。表紙は赤い紙に黒いトナーでイラストと図案を刷り、白いトナーでタイトルを重ね刷りしている。

『ファング』作 山川夜高  
2024年5月19日発行  
A5判40ページ・中綴り製本  
本文わら半紙のコピー本  
文学フリマ東京38会場ほか  
通販で販売(増刷予定なし)  
即売会価格5000円

5月19日開催の文学フリマ東京38で、文芸サークル「シーサイドブックス」は新作小説『ファング』を発表した。2022年11月発行の『Sofarland, 空は晴れて』からは一年半ぶりの新作で、作者の山川夜高は「10年ぶりに6年ぶりに新譜を出すのだから自分もこれぐらいのプランクは許されたい」と支離滅裂なコメントをした。『ファング』はウェブサイトで連載している架空のロックバンドの小説シリーズ『Drive to Pluto』の番外編にあたる作品。物語は1989年12月、失踪したギタリストの「ファング」を探してベーシストの「われ(ヒサシ)」とドラマーの「謙太」が奔走する様を描く。作中ではブルースギタリストのロバート・ジョンソンの逸話「クロスロード伝説」が引用され、オカルト・ダークファンタジーの要素も含まれる。主題は才能や社会的地位を持つ者と持たざる者同士の友情で、宮沢賢治の童話『銀河鉄道の夜』の細かすきて伝わらないオマージュ

も登場する。作者の山川は本作を「本場にブックの上着が送られてくるタイプ」「銀河鉄道の夜」と形容したが、刊行間もない作品であるために作者の頭も混乱を来していることに注意されたい。作中には『Drive to Pluto』の番外編だが、シリーズ未読でも話の筋は追えるようになっている。もし『ファング』の世界が気に入れば、2000年代のバンドマンの小説『Drive to Pluto』もぜひ読んでほしい。

### 久々のコピー本制作 作者「二度とやりたくない」

『ファング』はインディーズ・バンドの手焼きのCD-R(白ラベルに直筆でタイトルを書いただけ)のチープさをリスペクトし、中綴りコピー本という仕様になっている。作者は以前2014年に『Cipher』初版の200ページの文庫本を80冊ほど自宅のプリンターで印刷製本した経験があり(現在は印刷所で制作)、作業前は「今回も余裕です」とSNSで発言した。しかし本文40ページの本作に対して、作業後「もう二度とやりたくない」と手のひらを返した。『ファング』の増刷予定はなく、完売後はウェブサイトでも全文を公開する方針だ。



▲新たに導入された裁断機。小口裁断に使用したが、わら半紙の特性上鋭利に裁断できないことがあり、それも「仕様」と言い張って販売する。

ねずみちゃん  
LINEスタンプ  
なるほどね  
40種  
好評  
配信中

小説「これは物語ではない」  
その日、  
東京に  
ヒトデが  
降った。  
スピノフ短編  
星降る昼

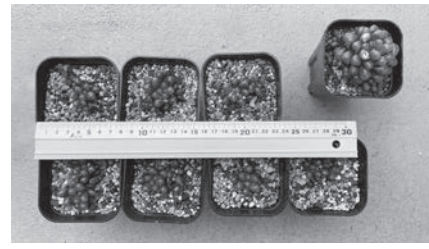
「ぼくたちは  
波形のまにまに、  
あなたがさんかくの  
ボタンを押すまで  
待っている。  
Drive to Pluto

表紙も本文もつくれる!  
文芸デザイン 有償依頼制作  
同人誌向け 特殊装丁や印刷所の相談も◎  
できること・制作事例など ▶ [libsy.net/order](http://libsy.net/order)  
装訂部 by SeasideBooks

# ねずみちゃん BUMP OF 知見 締



# 多肉植物増えすぎて「草」 收拾つかず



◀左:すごい数の子株をつけたハオルチア・オアツーサ。 ▲上:植え替え後の様子。

自宅ですべて育てている多肉植物「ハオルチア・オアツーサ」が大繁殖し、收拾がつかなくなっている。2021年8月に友人の友人の職場の人から「増えすぎたのでもらってほしい」と頼まれて受け取ったハオルチアの子株が山川の家でも大繁殖し、もらったときの10倍の量の子株を形成した。ハオルチアは南アフリカの礫砂漠地帯が原産の多肉植物で、野生では岩の隙間などに隠れて自生している。ハオルチア・オアツーサに代表される一部の種は、光の届きにくい岩の隙間で効率的に光を集められるように、葉がレンズのような半透明質の構造をしている。透明感のある見た目で育てやすさから、園芸種として人気が高い。ベランダ園芸愛好家の山川夜高は「多肉植物は乾燥地帯などの過酷な環境で生きるために進化した種だ。甘やかして育てられる園芸環境下に置いたら増えるのも当然」と分析した。現在も引き取り手を募集しており、詳しくは今後ブログで発表があるとのことだ。

前回2023年11月11日開催の「文学フリマ東京37」で架空のロックバンドを題材にした新作小説を発表したかったが、執筆が難航し、間に合わせる事ができなかった。その作品は数作を収録したオムニバスにする予定だったが、一作だけ他と時代や毛色が違う筋書きの作品があり、それを今回「ファンク」として独立して制作し発表された。◆「ファンク」はウェブ小説やイラストで展開しているシリーズ『Drive to Pluto』の関連作品だ。シリーズ作品の登場人物を知っているかどうかで本作から受け

園芸 もらったときの10倍に増殖

ご愛読ありがとうございます 『Cipher』刊行10周年

2014年4月29日に初版を発行した小説『Cipher』が、今年で刊行10周年を迎えた。『Cipher』は黒い紙に黒い文字で全文を印刷した「読めない小説」。あえて読書体験を困難にする事で、物語を読むという行為自体を改めて考えさせるコンセプトアルな作品だ。異様な観光地の「街」を舞台に、安酒場のピアノ弾き・Xと奇烈な悪役俳優・Oの交流が描かれる。刊行から10年が経過した今も作中で描いた物事は色褪せず、むしろ10年の歳月による社会の変化によって作品に新たな文脈や価値が加わったのではないかと考えている。今後も長く読まれることを願うばかりだ。

バックナンバー配信 『海辺新聞』のこれまでの記事を、シーサイドブックスのウェブサイトでご公開いたします。 libsy.net/blog/2811

イラスト受付中 SKEB https://skeb.jp/@mtn\_river/

KAKUU NO ROCK BAND (秋山聖 / Drive to Pluto) NO PARODY, NO LIFE

Yodaka YAMAKAWA Follow me on... Website 小説掲載・ブログ libsy.net Fediverse イラスト・設定・ネタ投稿 @mtn\_river@misskey.design Twitter @mtn\_river